

爆音訴訟勝利を 勝ち取ろう!

厚木爆同

【発行】
 厚木基地爆音防止期成同盟
 発行責任者 石郷岡 忠男
 事務所 大和市桜森3-5-3
 フォント1F
 TEL 046-240-7450
 FAX 046-261-5615
 bakudou@kanagawa.email.ne.jp

爆音訴訟判決11月20日に

第五次厚木基地爆音訴訟は2017年に8000人を超える原告で提訴し、空母艦載機の岩国移駐後も続く軍用機騒音の被害に対する損害賠償と飛行差し止め請求を



飛行差し止めなどを訴えた原告団

認めさせるべく頑張ってきました。昨年11月の横浜地方裁判所での結審から1年が経過し、いよいよ11月20日(水)午後2時半に判決を迎えます。

今回、田村明弘横浜国大名誉教授の「軍用機騒音の公正な評価方法」の証言をもって「静かになった」という国に反論するなど原告団・弁護士とともに、私たちも集会や裁判の傍聴行動、署名活動などに取り組んできました。これまでの基地訴訟の例を見れば控訴審は避けられないでしょうが、勝利判決を勝ち取るために頑張ります。

厚木基地をめぐる最近の状況と今後の展望 厚木爆同勉強会を開催

9月28日に大和市生涯学習センターで「厚木基地をめぐる最近の状況と今後の展望」というテーマに、ジャーナリストの布施祐仁さんを講師に迎え「厚木爆同勉強会」



多くの会員が参加した勉強会

を開催。36人が参加し、会場からの質問も多く出て好評でした。講師はまず、空母艦載機移駐後の厚木基地での米軍の状況について話されました。

そして、台湾有事を想定して米軍が構想している分散型海上作戦(DMO)、遠征前進基地作戦(EABO)について解説をしました。これは、小規模の部隊を薩南諸島、沖縄本島、先島諸島、台湾、フィリピンの島嶼に米海兵隊が分散展開し、移動を繰り返しながら作戦を遂行するというものです。米海兵隊とともに、陸上自衛隊のミサイル部隊や電子戦部隊が一

いのくら基地部会で県に要望書提出

いのくら基地部会が9月30日に開かれ、6月に提出した神奈川県に対する要望書に対しての第1次文書回答について、次のように再要求を提出しました。

- ①オスプレイの墜落事故原因については解明に向けて、県も積極的に動くこと。
- ②厚木基地が後方支援の拠点として強化されることに対し県の見解を求める。
- ③県は使われていない施設や建物を把握しているのか。

体となり作戦を遂行します。それに伴い、横浜ノースドックに陸軍の小型揚陸艇部隊、米陸軍キャンプ座間に輸送大隊が発足しています。まさに日米一体化で中国への挑発を続けています。これに伴って厚木基地が強化され、外来機の飛来も増えると思われました。

これは、まさに対中戦争を想定した米国の戦争準備です。戦争になれば、軍事基地は真っ先に攻撃される。沖縄の琉球弧の島々だけでなく、厚木基地も含めて神奈川の基地も例外ではありません。

台湾有事は絶対に起こしてはならない。米政府や日本政府が言う「軍事介入の意思表示は抑止力」は、緊張を高めるだけ。「日中共呼声明の合意を遵守し、平和的解決を求めていくことが大切。それ

第五次厚木爆音訴訟勝利、飛行差し止め判決を求める
 8・31神奈川集会

判決日が決まらない中の8月31日、台風が接近して交通障害が発生し雷も鳴る中、集会を厚木爆同には現地住民が声を上げることが重要な役割を果たす」とお話の最後に強く訴えました。

執行委員会が「ミサイル基地」映画を上映

厚木爆同執行委員会では8月から、執行委員会の前にドキュメンタリー映画を鑑賞して知見を広げています。

8月は有機フッ素化合物(PFAS)汚染と闘う「続・水どう宝」、9月は「琉球弧を戦場にすするな」、

10月は「ミサイル基地がやってきた 島で生きる」を鑑賞しました。いずれも、沖縄での闘いについての知見を広げました。会員の方にも鑑賞参加を呼びかけて参加した会員もいて、意識を深めました。



爆音訴訟勝利を訴えてプラカードを掲げた

衆議院選挙 厚木爆同推薦候補者



神奈川13区
(大和市・綾瀬市・瀬谷区)

太ひでし



神奈川12区
(藤沢市・寒川町)

あべともこ

10月27日に行われる衆議院選挙に厚木爆同は推薦候補として、会員として爆音解消に向け国政で活動している「あべともこ」と「太ひでし」さんを選定しました。

当選に向け、皆様のご支持・ご協力をお願いします。

米軍横田基地、米軍六本木ヘリポートと赤坂プレスセンターを視察

基地視察は、「米空軍横田基地」と、「米陸軍六本木ヘリポートと赤坂プレスセンター」を見学しました。



横田基地の概要を説明する福本団長

「横田基地」では、横田基地公害訴訟原告団団長の福本道夫さんから現地視察と概要説明を受け、「六本木ヘリポート・赤坂プレスセンター」では、基地返還でできた青山公園南地区から見学しま

横田基地

横田基地は米軍機の騒音に加えて、米空軍が6機のオスプレイを配備しているため、墜落の危険が増しています。視察中にも、何回ものオスプレイの飛行訓練を目撃しました。

また、今年8月に発がん性の疑いがある有機フッ素化合物(PFAS)を含んだ汚染水が新たに漏出したことが、最近明らかになりました。健康被害も問題になっています。

さらに、米軍再編で横田基地が作戦指揮ができる在日米軍統合司令部にな

米軍ヘリ、またも不時着事故

10月10日、米軍厚木基地所属のヘリコプターMH-60Rが不時着事故を起こしました。

今回の現場は茅ヶ崎駅から南方に約1.5キロ離れた海岸の砂浜で、国道の北側には住宅や中学校があります。幸い被害はなかったようですが、8月に続く不時着で米軍の安全管理はどうなっているんだ、と怒りがこみ上げます。

茅ヶ崎市の佐藤光市長は「誠に遺憾」とコメント。大和市長と綾瀬市長は厚木基地を訪れて、米軍司令官に原因究明や再発防止を要請しましたが、今回も日米地位協定の壁に阻まれて県警は現場検証も事故原因の調査もできていません。

日本側が直接関われるように日米地位協定の抜本改定が必要です。

基地視察に参加して

今回の基地視察は以前の基地視察でも行っていた横田基地と、どこにあるの？の六本木ヘリポートの2ヶ所。

横田基地では悪名高きオスプレイが何機も飛び立ったり、降りてきたりするのを観察。オスプレイの騒音は相当うるさい。飛行再開されても根本的な原因が取り除かれた訳ではなく、続々と飛ばして問題はないのかと強く思った。

次に行った六本木ヘリポート。高層ビルの屋上と思い込んでいたのに、なんと青山公園の横の囲われた特別な場所だった。新国立美術館にも近い、こんな場所とは全く知らなかった。

それに赤坂プレスセンターに併設、設置されているものだった。東京23区で唯一の米軍基地なんですね。よく知らなかったのが、現場が見られて良かったです。

藤沢支部 水上和恵

ることが決まったことで、戦争になったときに最優先で攻撃される危険が高まりました。

六本木ヘリポートと赤坂プレスセンター

米陸軍六本木ヘリポートと赤坂プレスセンターは、都心の真ん中にある米軍基地として有名です。

「プレスセンター」という名称は米軍の機関紙「星条旗新聞(Stars and Stripes)」の日本支部があるからです

日米共同統合訓練はいろいろな

10月23日から日米共同統合演習(実働演習)「Keen Swordキーンソード25」が実施され、厚木基地の使用が懸念されます。基地等警備訓練として23日から25

が、実態は在日アメリカ陸軍が管理する基地で米軍の各種機関のオフィス、宿泊施設があり、中でも重要な機能の一つが、六本木ヘリポートです。

日米で陸上自衛隊、航空自衛隊、海上自衛隊および米軍の各部隊が施設・部隊を警備するための基本的な訓練を実施。航空自衛隊中部航空方面隊中部高射

ピース・フェスティバルin大和・綾瀬2024開催

大和駅東側プロムナードで10月12日(土)、ピース・フェスティバルが開催されました。

模擬店コーナー、ピース・コンサート、アジアの平和と基地問題を考えるパネル展など、多彩な舞台パフォーマンスと

参加者はウクライナ出身の歌手カテリーナの伝統楽器による弾き語りなどに、耳を傾けるなどして、世界に平和を。静かな空を、と訴える一日となりました。

空母母港化抗議！配備撤回を求める全国集会に参加

横須賀を母港とする原子力空母がロナルド・レーガンからジョージ・ワシントンに変わる今年、集会所が横須賀市ヴェルニー公園で開催され、厚木爆同も参加しました。

和運動センターと三浦半島地区労センタが主催で開催されました。

集会所終了後横須賀中央駅近くまでデモ行進を行い途中、米軍横須賀基地正門前でシユプレヒコールを上げました。

厚木爆同石郷岡委員長が現地報告として厚木基地の現状を紹介し、11月20日には第五次厚木基地爆音訴訟の判決が出る。軍用機の飛行差し止め判決を勝ち取るように頑張ると訴えました。



基地正門前で空母の配備撤回を訴える

集会所は神奈川平

NHK受信料学習会に参加を

厚木爆同はこの訓練に反対していきます。



オーストラリア軍 P-8 哨戒機

群がPAC-3器材を含めた車両を基地内の所定の場所まで移動させ、射撃態勢を確立するまでの手順について確認する訓練を、11月1日まで実施。

本訓練に参加するオーストラリア軍の哨戒機とカナダ軍の哨戒機が、厚木基地を機体整備等のために使用。また、オーストラリア軍とカナダ軍が、厚木基地内の宿泊施設を利用します。

まさに基地機能強化が進められており、厚木爆同はこの訓練に反対していきます。

日時 11月24日(日)午後2時
会場 大和市生涯学習センター1610大会議室
講師 弁護士 福田 護氏

・内容 NHK受信料について
・参加 事前申込制です。各支部長に申し込んでください。

詳細は折り込んだチラシをご覧ください。是非ご参加ください。



厚木爆同「学習会」

